

共同処理による効果が期待できる事務のメルクマール（たたき台）

1. 事務の処理に係るもの

事務が定型的、又は裁量の余地が小さい

規模の拡大により、効率化が可能

- 入札・契約・物品調達
- 国保・介護保険（事務）
- 国土調査（地籍調査）
- 各種調査・統計

専門性が高く、一定の規模が必要

- 税務（特に滞納整理、固定資産評価）
- 電算システム
- 土木（設計・積算・検査）
- 都道府県からの移譲事務（開発許可など）

客観性・独立性が必要

- 監査委員事務局
- 介護認定審査会、障害区分認定審査会、公平委員会
- 情報公開審査会等

- 教育委員会事務局（学校教育・文化財）
- 選挙管理委員会事務局
- 農業委員会事務局
- 会計管理・出納

- 庁舎管理、公園管理、公営住宅
- 土木（維持管理）

- 生活保護

広域で実施することが施策目的の達成に有効だと考えられるもの

- 観光振興（広域観光）
- 大気・水質等の環境規制、自然保護
- 交通対策
- 各種広域計画の作成 など

2. サービスの提供に係るもの

提供するサービスの内容の違いが小さい

身近にある方が望ましいが、一定の規模が必要

- 小学校・中学校
- 保健（相談・健診・健康指導等）
- 地域包括支援センター
- 消費生活センター